

令和7年度研修大会 講演

「西川悟平トーク&ピアノコンサート」
～1本のか細いチャンスの糸を手繰り、紡ぎ、
やがて大きな奇跡へ～

ピアニスト 西川悟平 氏 (かながわSDGsスマイル大使)
令和7年7月5日(土) 藤沢市民会館

筋肉が収縮する難病のジストニアを患い、懸命なリハビリを重ねて動かなかった指が7本まで動くようになり、再起を果たして現在は国内外でご活躍されています。2021年の東京パラリンピックではグランドフィナーレを飾りました。

ご自身のさまざまな体験談を交えながらのピアノ演奏には涙を流す方もたくさんいらっしゃいました。「失ったものを考えるのではなく、あるものに感謝することで人生が変わった。」「最悪だと思っていたことが、考え方次第で最高の出来事になるきっかけになる。」とお話ししてくださいました。

西川さんのお話とピアノを聴き、元気をもらい、物事をポジティブに見ようとするだけで見える世界は明るい!! ということを学びました。



第63回神奈川県立高等学校 PTA連合会大会 講演

「すべてを否定しない生き方」
～何事も前向きに考える方法論～

雅楽師 東儀秀樹 氏
令和7年11月29日(土) 伊勢原市民文化会館

自分の在り方を知り、夢を持つことが他と価値を分かち合い、コミュニケーションの大事なポイントとなる。いろいろなことを否定せずに、何事にも挑戦する。失敗を恐れずいつでも全力で進むことなど、東儀さん流のワクワクな生き方論を軽快なトークと素敵な演奏を交えながらお話しいただき、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。

会場に来ていただいた方のアンケートでは「まだまだ、もっとお話を聞きたいです。」「学校にきて子どもたちや保護者、先生たちにもぜひ聞かせたい。」と嬉しい声をいただきました。



高P連ホームページ <https://kanagawa-koupren.jp/>

高P連ホームページでは、会員の皆さまが参加できる大会や講演、研修等のご案内を掲載しています。その他にも活動報告など、高P連についてより知っていただけるように情報を発信しています。ぜひご覧ください。

こちらのQRコードからアクセス▶



令和7年度 神奈川県立高等学校PTA連合会 役員・理事紹介



前列 (左から)

土谷理事 (横三)、村田副会長、関副会長、内田会長、橋本総務、菊地監事、松浦理事 (横浜中)

2列目 (左から)

香取理事 (川崎)、藤本理事 (相模原)、石井会計、藤下副会長、岩澤総務

後列 (左から)

小島理事 (平秦)、府川理事 (県西)、鈴木会計、佐藤理事 (横浜北)、宮城理事 (湘鎌)、釣副会長

内田会長インタビュー

Q & A

Q 高P連のスローガンについて教えてください

A これまで諸先輩方から引き継いできた「学び、行動するPTA」というスローガンを大切にしながら、私たちらしさを表す合言葉のようなサブタイトルをつけたいと考えました。そこで決まったのが「迷ったらやる やるなら楽しむ」です。藤下副会長の案で、今の高P連にぴったりだと感じています。

Q 内田会長がPTAに関わったきっかけは?

A 長女が小学校に入学した際、学年委員になったことがきっかけです。先入観なく活動に関わることができましたし、「何をしても必ず得るものがある」と思っているので、あまり構えず手を挙げました。

Q 小・中学校と高校のPTAの違いは?

A 高校のPTAもとても楽しいです。小・中学校は地域との関わりが中心ですが、高校はその枠を超えたつながりがあります。楽しさや得られる知識が何倍にも広がると感じています。

Q 現在の神奈川県の高校PTA活動をどのように見えていますか?

A 各校のPTA会長同士が横につながり、他校を参考にしながらより良い活動を目指そうとする熱意を強く感じます。会員数が多い分、課題も多様ですが、共有しながら考えることで活動がどんどんブラッシュアップされています。神奈川県は最先端と言ってもよいと思っています。

Q 大会などへの参加意欲を高めるために工夫していることはありますか?

A 各校PTAの本部役員や委員だけでなく、一般の会員の方や教職員の皆さんにも講演会などに参加し

ていただきたいと思います。役員会や理事会で意見を出し合い、さまざまな試みを重ねながら、「来たい方が来られる大会」を目指しています。

Q 神奈川県のPTA活動で、特に良いと感じる点はどこですか?

A PTAが任意団体であることを、皆さんがしっかり理解している点です。教育委員会・学校・PTAが連携し、入会について曖昧にしない努力をしています。県のHPでいつでも閲覧できるPTAハンドブックは、私たち高P連も作成に関わっています。

Q 県大会での活動事例発表はどのような位置づけですか?

A 各地区大会での発表を高P連役員と理事が拝見し、県全体で共有したい活動を行っている学校に県大会で発表していただいています。さらに、神奈川県が関東大会の分科会の担当になった年は、そこでも発表していただいています。

Q PTA活動以外で、プライベートのご趣味はありますか?

A 手話の勉強をしています。いくつかの手話サークルに所属し、ろう者の方々と交流しながら、日々楽しく学んでいます。

Q 高P連の会議やイベントに参加する時は、どのような気持ちで臨まれていますか?

A いつも「どんな出会いや学びがあるだろう」と、ワクワクした気持ちで参加しています。

第63回 神奈川県立高等学校PTA連合会大会

PTA活動事例発表校を紹介！

各地区大会で行われた活動事例発表の中から2校を選出し、発表していただきました。

希望ヶ丘高等学校PTA



横浜中地区大会にてPTA活動を発表。チーム一丸となって取り組んだ成果を共有しました。

テーマ：改編を通して学びながら、子どもたちのためにより良いPTAをめざして

本校PTAでは、これまでの活動や会費の使い方について、「このままでよいのだろうか」という長年の課題を抱えていました。そうした中、他校の取り組みに学び、活動の形骸化や会費の公平な還元という課題を見直し、「子どもたちのために何ができるか」という共有認識のもと、学年・環境・広報の三委員会へと組織改編を行いました。特に課題であった費用面の見直しを進めるとともに、委員選出を立候補制とし、学校や各委員会との連携、情報共有の強化にも取り組んでいます。今後も、子どもたちを支えるPTAのあり方を模索していきます。

●発表してみての感想

当日は大変緊張しましたが、昨年度の地区大会での他校の発表に刺激を受けて進めてきたPTA組織改編を、地区大会および県大会で発表できたことは、私たちにとって貴重な経験でした。他校から「参考にしたい」との声をいただき、取り組みを共有できたことを嬉しく思っています。

●貴校PTAはどんなPTAですか

本部だけでなく各委員会も発想力に富み、アイデアを着実に形にしていくエネルギーが豊富なPTAです。一人ひとりの熱量が異なることを認め合いながらも、「子どもたちのための活動」という共通認識のもと、同じ方向を向いて進んでいることが強みです。

●PTA活動で大切にしていることは？

昭和の時代とは異なり、役員のお多くはフルタイムで働き、仕事・家庭・PTAと多忙な日々を送っています。当

校に限らず、活動が外部から評価される機会は多くありません。だからこそ、役員一人ひとりが納得して参加することを大切に、お互いを尊重しながら活動しています。

●PTA活動の今後の目標は？

活動任期が限られるPTAでは、長期目標に固執せず、その時々状況に応じた柔軟な対応を進めていきます。改編の根底にある「子どもたちのための活動」という軸を大切に、多様な声を拾い、タイムリーに形にしていくことを今後の目標とします。

●他校PTAへのメッセージ

PTA役員や加入に対する価値観が多様化する中、各校が模索しながら活動を進めていることと思います。他校の取り組みに触れることは、刺激や励みになります。当校もそうした機会から一歩を踏み出すことができました。ぜひ情報交換の場にご参加いただければと思います。

市ヶ尾高等学校PTA



市高最高！

テーマ：持続的発展可能なPTA活動への取り組み

学校とPTA組織の紹介に続き、持続的発展可能なPTA活動への取り組みとして1つは、わかりやすい／親しみやすい組織ネーミングへの変更。2つ目は活動を行った参加者に振り返りを実施してもらい、良かった点と改善点を確認、改善点は生成AIも活用してまとめ、次回以降の運営に反映していくPDCAサイクルを回しています。その活動の中で市高史上最大規模のどん汁炊き出しを実施しました。最後に暗黙知と呼ばれる気づき、ルール、ノウハウなどはなるべく見える化即ち、形式知化して次世代へ継承することを提案しました。

●発表してみての感想

普段何気なく行ってきたPTA活動を発表しましたが、他校PTA会長からは「内容がとても良かった」などの激励の言葉がもたらされたこと。

●貴校PTAはどんなPTAですか

生徒も保護者も似たような振る舞いが特徴です。熱しやすく冷めやすい？

●PTA活動で大切にしていることは？

活動の透明性や参加のし易さを重視し、多様な意見を取り入れる工夫をすること。また、他人同士だからこそ

のコミュニケーションを大事にし、そのコミュニケーションの輪（ネットワーク）を広げることを方針としています。

●PTA活動の今後の目標は？

発表テーマのとおり、今後も持続的に発展していくことができるPTA活動を目指します。

●他校PTAへのメッセージ

単Pで閉じることなく、地区や県大会などの機会を通じて、他校PTAの人たちと交流することで自校PTAにはなかった新たな気づきが得られると思います。

令和7年度 学科改編高校紹介

二俣川高校



二俣川看護福祉高等学校は、令和7年4月より学校名を二俣川高等学校に改名し、看護科を普通科へ学科改編しました。61年に及ぶ「看護の心」「福祉の心」「奉仕の心」を育む教育を継承し、新たな時代を担う「看護・医療・保健」の進路意識を高め進学を支援する普通科と専門科目を学べる福祉科の学科併置校としてスタートしました。

普通科では共通科目に加え、「基礎看護」や「看護総合」など専門科目も学べる教育課程となっており、普通科として多様な進路を支援します。また、「総合的な探究の時間」をはじめ探究的な学びを推進していきます。

福祉科では、これまでの2クラス編成から1クラス編成となり、生徒一人ひとりを手厚く支援できる体制となりました。「社会福祉基礎」や「介護福祉基礎」など専門科目に加え、保育体験や同行訪問実習など校内外での実習も充実しており、「介護職員初任者研修」修了資格を取得できます。

落ち着いた礼節を重んじる校風で、生徒たちは仲間とともに生き生きと学校生活を送っています。

産業教育フェア 令和7年11月8日(土)、9日(日)

会場：神奈川県立神奈川工業高等学校

テーマ：「夢にはばたけ、未来のスペシャリストたち～触れてみよう専門高校～」

神奈川県の高産業人材の創出が目的であるSTEAM EXPOのイベントの1つとして産業教育フェアが開催された。生徒たちの日頃の学びを発表する場を提供するとともに、各校の特色を生かした展示、技術の紹介、物品の販売、技術体験などができるイベントである。



□ロボットが会場をご案内

- ◆**工 業**：商工高校は企業とコラボして「リサイクルベンチ」の作成を紹介。環境保全に対する思いも学べるよい機会と思った。
- ◆**看護・家庭**：二俣川高校は白杖体験を通じ、吉田島高校生活科学科は授業でヒューマンサービスを考えることで、知識とサポートの重要性を説明していた。
- ◆**商業・農業**：調理パンや農産物、ジャムなどの嗜好品、鉢植えなどの販売で、会場は非常に盛り上がっていた。自分のアイデアを生かした商品開発には生徒のイキイキとした思いや情熱が伝わってきた。

企業との連携にて、生徒の新しいアイデアを形にしている事例が多かった。専門高校については神奈川県の高産業性も生かしながら幅広い分野でスペシャリスト育成をしていることがよく理解できる場であった。

高P連各委員会活動報告

○調査広報委員会

研修大会で、「他校の事例から学ぶ！広報委員交流・実践報告会」の分科会を行いました。参加者が持ち寄った広報紙を読み合ったり、質問したりしました。グループでのディスカッションでは各高校のさまざまな課題について話し合い、その後全体で意見交換を行いました。

○研修委員会

研修大会の分科会では「保護者のための研修企画を考えてみよう」と題して、グループワークを行いました。普段は顔合わせできない他校の方々と意見交換をしながら、実際の研修会を想定し企画立案をしていただきました。参加された多くの方から、他校の活動を知ることができてよかった、楽しく情報交換ができたと感じていただきました。限られた時間の中で真剣に取り組んでいただきありがとうございました。

○健全育成委員会

研修大会の分科会では、特定非営利活動法人 NPO情報セキュリティフォーラム事務局の 廣瀬由美先生に、「子どもたちを取り巻くインターネットの課題」をテーマに、最新の犯罪事例の紹介などをいただき、インターネット犯罪から子どもを守るヒントをご講演いただきました。

また、令和7年12月20日(土)に産業貿易センタービルで開催された研修では、神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 准教授の駿藤晶子先生に、「高校生の“食”が未来をつくる：成長期の栄養と自立を支える家庭のかかわり」と題して、成長期の最後のステージを支える食事の大切さや、これからの自立に向けた食習慣の確立についてお話しいただきました。

第49回広報紙コンクール (応募数56校)

神奈川新聞社 審査委員長 佐藤英仁氏 からの講評

3年ぶりに広報紙コンクールの審査にかかわりましたが、

- ①全体のレベルアップ
 - 写真の活用、レイアウト、記事構成、企画力が向上
- ②作り手の意思が伝わる紙面
 - 学校の雰囲気と楽しみながら制作している様子が伝わってくる。

の2点で大きな変化と成長を感じました。

文章を書く際は、「誰に何を伝えたいかを明確に」「一文を長くしない」「修飾語を多用しない」という3点に気を付けています。参考に見てみてください。



最優秀賞
七里ガ浜高校

情報量、記録性、一貫性、デザイン性、そして企画力、全てを兼ね備え、「学校の歩みと世相の年表」「OBや在校生インタビュー」「未来の自分への一言」等、開校50周年節目のこの号は、保存性の高い一冊。



安全振興会賞
元石川高校



高P連校長賞
大磯高校

「危険箇所マップ」は保護者ならではの視点。海外研修の特集もよい。



教育委員会教育長賞
多摩高校

独自の学校設定教科「メラーキ」を保護者にわかりやすく伝えようという意図が伝わってくる。



優秀賞
神奈川新聞社賞
神奈川総合高校

テーマ性を持った色味やレイアウト、写真の使い方により、生徒同士の会話や雰囲気が伝わり読んでいる方も疑似体験できる。

表紙の写真から裏面のPTA活動まで「学校の一体感」が感じられる。



編集賞
座間高校

教職員の顔写真に興味・特技をイラストで合成した紹介方法は面白いアイデア。観音開きのページもよい。



写真賞
湘南高校

写真の配置に工夫がある。小さい写真でも効果的に配置しており、レイアウトに統一感がある。



企画賞
相模原弥栄高校

「あの先生の神授業」「あの教科×この教科」は学校の強みを的確に捉えた好企画。



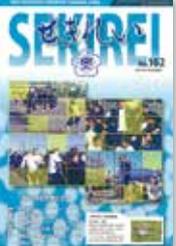
安全振興会写真賞
市ヶ尾高校

生徒の健康的・躍動的な姿や安全・安心・協調などが、表紙の写真で表現されていた。



奨励賞
横浜翠嵐高校

110周年を前面に出した好編集。「翠嵐生の一曰」値段・写真つきの学食紹介も好企画。



向の岡工業高校

卒業生の寄せ書きがあり「第二の卒業アルバム」のように楽しそうな学校の様子が伝わってくる。



平塚農商高校

NHKの取材を受けた様子を表紙に採用した点が斬新。取材を受ける生徒たちの緊張感と高揚感が伝わる。



港北高校

「生徒の行きつけの店」アンケート企画、「PTAってぶっちゃけどうなの」は興味深い内容。



川崎高校

全日制・定時制の活動が伝わる内容。写真でハートをかたどった卒業メッセージは「色紙」のような作りでよい。

第9回広報紙「表紙」コンクール (応募数58校)



優秀賞
中央農業高校

稲作の写真にぐっと惹かれ、まさに中農を表現している。



優秀賞
荏田高校

生徒の青春のひとコマが瞬間的に感じられる。



最優秀賞
神奈川工業高校

工業高校ならではの建物と生徒たちの構図がよい。



令和7年度定期総会

令和7年度 定期総会 成立要件と承認事項

【出席者数】 (総会員数：281名)	【決議事項】
各校PTA会長 74名	* 令和6年度事業報告・決算報告・監査事項
各校校長 81名	* 規約の一部改正
役員・理事 21名	* 令和7年度役員選任
委任状提出 82名	* 活動方針・スローガン・ミッション(案)
合計 258名	令和7年度事業計画・予算(案)

令和7年度の定期総会を、6月7日(土)に逗子文化プラザホールにて開催しました。

会長は引き続き内田裕美が務めることとなり、副会長4名のうち3名が退任し、新たに3名が副会長に就任いたしました。また、前年の理事の中から3名が新たに役員として選出されました。

また、令和7年度事業計画(案)においては、これまでの取り組みを継承しつつ、組織運営の安定と活動のさらなる充実を図る方針が示されました。各議案について活発な質疑・意見交換が行われましたが、すべての議案が承認されました。ご審議いただき、誠にありがとうございました。

	項目	収入	支出	差額(繰越金)
令和6年度決算	一般会計	31,310,672	23,115,279	8,195,393
	研修事業会計	5,482,414	2,906,128	2,576,286
令和7年度予算	一般会計	30,598,393	30,598,393	0
	研修事業会計	5,236,286	5,236,286	0

【学び、行動するPTA】団体表彰：15校(順不同)

- ・ 神奈川工業高校PTA
- ・ 市ケ尾高校PTA
- ・ 新羽高校PTA
- ・ 茅ヶ崎北陵高校PTA
- ・ 荇田高校PTA
- ・ 新栄高校PTA
- ・ 鶴見総合高校PTA
- ・ 元石川高校PTA
- ・ 大磯高校PTA
- ・ 横浜明朋高校PTA
- ・ 麻生高校PTA
- ・ 厚木高校PTA
- ・ 津久井高校PTA
- ・ 神奈川総合産業高校サポーターズ
- ・ 神奈川総合高校パートナーズ着物文化ファミリー

令和7年度 賛助会員(団体)：8団体(50音順)

- 一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会
- 学校法人浅野工学園
- 学校法人神奈川経済専門学校
- 学校法人深堀学園
- 株式会社トキワヤ
- 全力丸株式会社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 東京工芸大学

令和7年度 賛助会員(個人)：8名

神奈川県立高等学校PTA連合会がおすすめる 「ハイスクール24」(団体総合生活保険)

おすすめ
ポイント1

47.5%*割引適用

*団体本割130%、損害率による割引25%(除く天災危険担保特約)を適用。
*さらに傷害補償には大口団体割引10%適用。

おすすめ
ポイント2

24時間 365日
＜ケガや賠償事故を補償＞

おすすめ
ポイント3

個人賠償責任・国内無制限(国外1億円)
＜神奈川県自転車条例にも対応＞

*補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

おすすめ
ポイント4

教育継続支援特約(ZPタイプのみ) ※詳細はご案内チラシをご参照ください。
＜お子様の将来に向けた教育継続を支援！＞

大切なお子様を24時間しっかりサポートする「ハイスクール24」。学校を通じて、生徒・保護者の皆さまに「ご案内チラシ」を配付予定です(2月中旬頃配付予定)。ご関心のある方は、神奈川県立高等学校PTA連合会HPをご確認ください。Webによるお手続きが可能です。

■このご案内は商品の概要をご説明したものです。詳細はご案内チラシを、ご加入にあたっては重要事項説明書を必ずお読みください。ご不明な点がございましたらご案内チラシに記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

＜取扱代理店＞ 株式会社東京海上日動パートナーズTOKIO
横浜支店

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-4
みなとみらいビジネススクエア2階
TEL：0120-689-522(受付時間：平日9:00~17:00)

＜引受保険会社＞

東京海上日動火災保険株式会社
横浜中央支店 金融公務課

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-4
みなとみらいビジネススクエア6階
TEL：045-224-3519

25TX-005114(2026年1月)

「かながわ教育ビジョン」について

県教育委員会では、かながわ人づくり推進ネットワークと連携し「かながわ教育ビジョン」で掲げた「心ふれあう しなやかな 人づくり」を進めています。そうした人づくりの推進に向け、県民一人ひとりが教育について考える機会として、「かながわ教育月間」の設定や「かながわ人づくりコラボ」の開催等に取り組んでいます。PTAの皆様もぜひご参加ください。

県立高校改革

「生徒の学びと成長にとって何が重要かという視点を最優先にする」という基本的な考え方に立って、すべての県立高校で改革に取り組んでいます。

令和7年10月には、Ⅲ期計画を一部改定しました。

また、令和8年度には、再編・統合により、青葉総合高校、小田原北高校が開校します。

引き続き、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

神奈川のインクルーシブ教育の推進について

インクルーシブ教育実践推進校を設置し、実践推進校をはじめ、すべての学校でインクルーシブ教育を推進しています。今年度開催したインクルーシブ教育推進フォーラムでは県PTA協議会執行委員や県内高校生に登壇してもらい、県民の方々とともに「だれにとっても学びやすい学校」について考えを深めていきました。県の取組や実践推進校の取組についてはインクルーシブ教育推進課HPよりご覧ください。

スマートフォン等の適切な使用について

高校生がスマートフォン等の利用における犯罪被害、誹謗中傷やいじめ等のトラブルに巻き込まれるケースが増えています。

インターネット上に一度投稿し拡散された情報は、全てを消すことはできません。

また最近では、目先の利益にとらわれ、いわゆる「闇バイト」に安易に応募してしまい、重大な犯罪に加担してしまうことが

大きな社会問題となっています。スマートフォン等の使用に関するルールをご家庭で話し合ってください。

ペーパーティーチャー研修講座(県立総合教育センター)

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかの教員免許状を所有している、又は失効している方向けに、「ペーパーティーチャー研修講座」を2月26日(木)に開催します。詳しくは当センターHPをご覧ください。なお、次年度も同講座を複数回開催する予定です。

【問合せ】県立総合教育センター企画調整課 電話 0466-81-1759

相談窓口について

一人で悩まないでお気軽にご相談ください。不登校やいじめなどの学校生活に係る様々な相談は県立総合教育センターの教育相談へ

24時間子どもSOSダイヤル

0120-0-78310

不登校ほっとライン(電話相談)

0466-81-0185

Eメールによる相談

kng-k-mai | sodan@pen-kanagawa.ed.jp

来所による相談(要予約)

0466-81-8521

※相談対応日時については、当センターWebページでご確認ください。

教員の働き方改革について

「神奈川の教員の働き方改革に関する指針」に基づき、教員の長時間勤務の是正とウェルビーイングの向上に向けた取組を進めています。

教員が子どもたちと向き合う時間を確保し、より良い教育を行うため、業務負担の軽減を図り、働きやすさと働きがいと両立することが重要です。

教員の働き方改革の加速化に向け、今後ともPTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

「PTA活動のためのハンドブック」をご活用ください

PTAに対する理解をより深めていただくためのテキストとして、「PTA活動のためのハンドブック」を作成しております。ホームページからダウンロードしていただけますので、目的に合わせてご活用ください。

将来はエンジニア！ KCIT

神奈川県立産業技術短期大学校



エンジニアにつながる5コースで学ぶ！



機械システムデザインコース



制御システムコース



エレクトロニクスITコース



トータルデザインコース



ITエンジニアコース

○神奈川県が設置・運営する短大！

○学費は2年間で100万円程度！

○高校の専攻は問いません！

○進学希望者は4年制大学への3年次編入も可能です！

最新情報はホームページへ！

<https://www.kanagawa-cit.ac.jp/>

お問い合わせ

〒241-0815
横浜市旭区中尾2-4-1
(運転免許センター隣)

電話 045-363-1232



安全振興会報

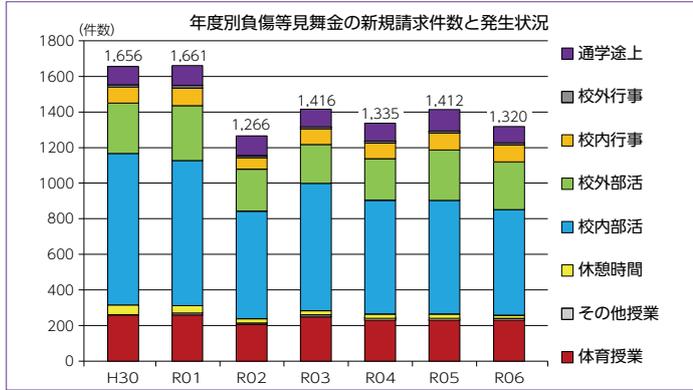
一般財団法人
神奈川県立高等学校
安全振興会

当法人は、昭和52年に創立した「神奈川県立高等学校災害共済会」を前身とし、①学校管理下における事故に対する見舞金の給付、②学校安全の普及と充実、③修学奨励金の給付、を行っています。詳細は当法人のHP、または、「令和8年度版安全振興会のご案内」をご覧ください。

見舞金等の給付状況

次の表は令和6年度の見舞金等の件数と給付総額です。グラフは直近7年間における負傷等見舞金の新規請求件数及び発生状況です。令和6年度新規災害件数は令和5年度から92件減少しました。この数は、コロナ前2年間の年平均より338件下回ります。生徒数の減少も要因の

	件数(件)	金額(円)
死亡見舞金	0	0
障害見舞金	7	4,630,000
負傷等見舞金	1,696	69,233,100
歯牙欠損見舞金	0	0
義歯見舞金	9	700,000
供花料	13	1,300,000
合計	1,725	75,863,100



一つと考えられますが、部活動における災害が50件以上減少しており、生徒や指導される先生方による事故対策の成果が出たものと思います。今後の動向に期待しています。

負傷の内訳

次は令和6年度の負傷の内訳件数表です。ケガが一番多いのが骨折、二番目が膝靭帯損傷という順位と比率は例年ほとんど変わりません。膝靭帯損傷の継続請求件数が多いのは、治療が長期間にわたるためです。表にはありませんが、種目別に内訳の割合を調べますと、部活動ではグラウンド種目は骨折が多く、体育館種目は靭帯損傷が多くなっています。授業や学校行事では球技種目の指の骨折が目立ちました。

内訳	新規	継続	合計
骨 折	590	141	731
捻挫	106	12	118
脱臼	66	20	86
打撲	70	7	77
外傷	52	2	54
膝内 骨折	17	3	20
歯 牙 破 折	40	3	43
アキレス腱断裂	8	9	17
半月板損傷	36	26	62
膝靭帯損傷	129	126	255
足関節靭帯損傷	101	9	110
ヘルニア	71	13	84
その他	34	5	39
合計	1,320	376	1,696

令和8年度会費額の変更なし

令和8年度の会費年額は次のとおりです。内訳を若干変更しましたが、合計額は変更ありません。

学校・課程	会費額			合計
	純掛金	付加共済掛金	一般会費	
高等学校(※)				
全日制	690	390	120	1,200
定時制	345	195	60	600
通信制	104	58	18	180
中等教育学校	690	390	120	1,200

(※)「高等学校」には特別支援学校高等部を含む。

テーマは、「安全」 または 「健康」

作文コンクール

応募数は279点(13校)でした。最優秀賞2点を「令和8年度版安全振興会のご案内」に掲載しました。また、第63回神奈川県立高等学校PTA連合会大会で本人による朗読が行われました。(以下、敬称略)

最優秀賞(2名)

- 米山太一(中央農業)
- 「食という生きる力」
- 西村真海(横浜平沼)
- 「助け合いの輪」を広げて

ポスターコンクール

応募数は145点(15校)でした。最優秀賞の2点を原画として「安全推進月間」と「作文募集」のポスターを作成し、「安全推進月間」のポスターは令和7年10月に全校に配付しました。「作文募集」のポスターは令和8年5月に全校に配付します。(以下、敬称略)

最優秀賞(2名)

- 中島采七(市立横須賀総合)
- 「安全推進月間」
- 吉岡志織(市立横須賀総合)
- 「作文募集」

優秀賞(7名)

- 佐藤杏菜(横浜平沼)、坂本明(麻生総合)、小須田充、鈴木碧、高橋こころ、長谷川涼(以上、相模原弥栄)、梅宮将志(神奈川工業(定))

佳作(31名)

- 袋井淳音(希望ヶ丘)、篠崎千夏(旭)、飯田真美、スミスリハナ、塚原珠生、中島星汰、堀添心結(以上、麻生総合)、新井美月、遠藤陵久、大倉愛、柴田薫、中澤優凜、橋本凌矢(以上、菅)、高野大翔(吉田島)、衛藤栖、大山尚悟、祇園七海、菊地芽依、草薙輝弥、柴田真綾、妹尾夏

優秀賞(10名)

- 横山莉緒(神奈川総合)、白井彩華(白山)、吉住瑠夏(上矢部)、服部桜(茅ヶ崎)、岡澤采里、疋田隆喜、青石純和、中村優那、中島桜(以上、市立横須賀総合)

佳作(11名)

- 吉原美胡(神奈川総合)、菊地絢千(白山)、鈴木美華(茅ヶ崎)、竹田杜杏夏(鶴嶺)、南藤里涼、竹内晴夏、山浦向葵、五十嵐凜花(以上、市立横須賀総合)、平川心遙、渡部葉奈、松尾茜(以上、横浜隼人)



吉岡志織さん (市立横須賀総合)



中島采七さん (市立横須賀総合)



西村真海さん (横浜平沼)



米山太一さん (中央農業)

一般財団法人
神奈川県立高等学校
安全振興会
横浜市中央区山下町1番地
シルクセンター326号室
電話 045-274-8189
FAX 045-274-8190
URL <http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp>